

子どもから高齢者まで
元気で楽しく

助け合えるふるさと加治

みんなでつながる福祉のまちづくり



編集：新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
発行：平成 25 年 5 月
新発田市
〒 957-8686 新発田市中央町 4 丁目 10 番 4 号
社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
〒 957-0054 新発田市本町 4 丁目 16 番 83 号



加治コミュニティ協議会

新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

ごあいさつ



加治地区は、四季を通じて美しい自然環境の中、花いっぱい運動やひとり暮らし高齢者への年賀状贈呈事業、友愛訪問など様々な取組を進めている地域活動が活発なところでもあります。

近年、少子高齢化の進行や人口減少社会が到来しており、加治地区においてもその現象は如実であります。加治地区全体の高齢化率は22.4%となっており、今後、益々高齢化率は高くなっていくことが予測されます。そのため、住民全体で地域福祉の活動を展開させていくことが大切となってきています。

この度、加治コミュニティ協議会の皆様はじめ、加治地区の皆様のご協力により、「加治地区福祉活動計画「子どもから高齢者まで元気で楽しく助け合えるふるさと加治」を策定することができました。

今回の策定にあたっては、アンケートのご協力をいただくとともに、福祉懇談会を開催し住民の方々との研修会やワークショップなどの協働作業を行いながら、地域の現状と課題を確認し合い、今後の目標、取組を加治地区福祉活動計画としてまとめました。

住民参加による地域福祉の実践となるものと期待するとともに、それに向かって「地域の輪、和」を広げて計画を推進してまいりたいと考えております。

加治コミュニティ協議会 会長 稲 泉 常 市



目 次

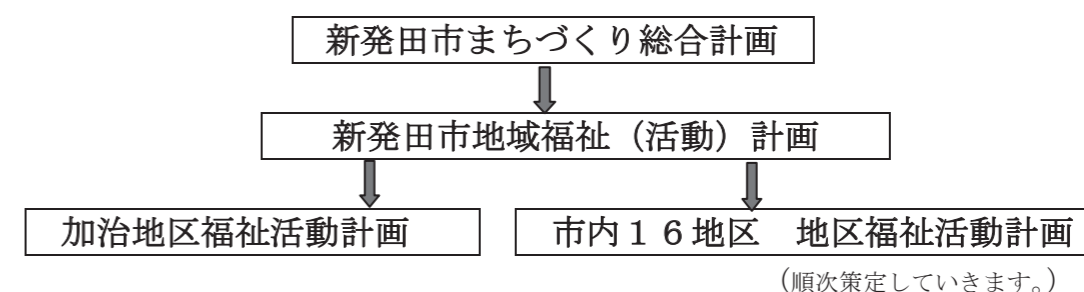
1	加治地区福祉活動計画とは ……………	1
	加治地区福祉活動計画の推進に向けて 加治地区福祉活動計画の策定方法	
2	加治地区の概要 ……………	2
3	加治地区の現状と課題 ……………	5
4	基本理念、基本目標 ……………	6
5	目標達成の具体的な取組の例 ……………	7
参考資料		
	・加治地区福祉活動計画策定経過 ……………	8
	・加治地区福祉懇談会結果概要 ……………	9
	・加治地区福祉懇談会で出された意見 ……………	11

■ 加治地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、あるべき将来都市像を「住みよいまち 日本一 健康田園文化都市、しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉(活動)計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「加治地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉(活動)計画」に基づいた計画です。



※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

■ 加治地区福祉活動計画の推進に向けて

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、加治地区の中・長期的な目標として位置づけ、地域の方々と行政や社会福祉協議会などが連携して取組を進めていくことが重要です。

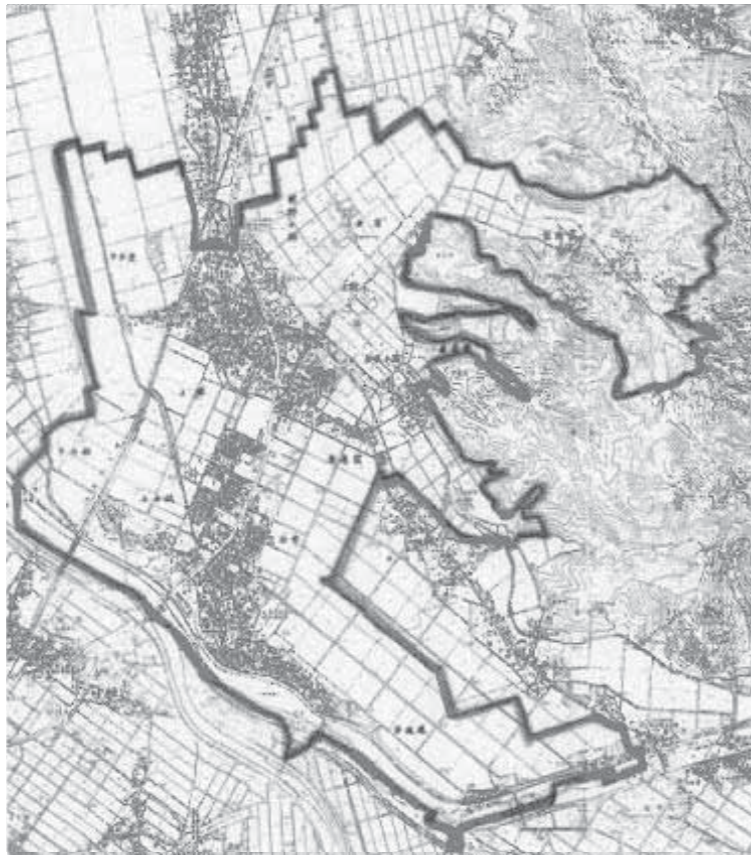
■ 加治地区福祉活動計画の策定方法

この加治地区福祉活動計画は、加治コミュニティ協議会を中心に加治地区福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握し、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

加治地区の概要

1 位置、面積

加治地区は加治川と要害山（通称加治山）の間に位置し、面積 5.72 ㎢で胎内市（旧黒川村）に至る国道 290 号線と国道 7 号線と交わる場所にあり、茗荷谷、金津、下今泉、下中、館野小路、新保小路、上館、新屋敷、小松、三日市第 1、三日市第 2、早道場、小皂の 13 集落から構成されています。



2 人口と世帯の状況（国勢調査による）

年次	世帯数	人口（人）	人口前年比（%）	65歳以上（人）	高齢化率（%）
平成 2 年	796	3,252	+ 3	465	14.3
平成 7 年	876	3,476	+ 7	559	16.1
平成 12 年	1,017	3,671	+ 6	682	18.6
平成 17 年	1,078	3,708	+ 1	741	20.0
平成 22 年	1,083	3,490	△6	781	22.4

3 公共施設等

- ◎ 教育施設 … ①七葉中学校
②新発田市中央公民館加治分館
③児童センター加治分館
- ◎ 保育施設 … ①ななは保育園
- ◎ 福祉施設 … ①加治地域ふれあいルーム
②社会福祉法人希望の家
- ◎ その他 … ①加治郵便局
②七葉駐在所
③J A 北越後加治支店
- ◎ バス停留所 … （コミュニティバス）
①三日市 ⑥加治駅前
②加治 ⑦新保小路
③小皂 ⑧山の腰・金津
④上館 ⑨茗荷谷入口
⑤七葉中学校前 ⑩茗荷谷

4 自然

◎ 加治川

加治川は、飯豊連峰に源を発する「飯豊川」と二王子岳付近に源を発する「内の倉川」が、市内の中々山で合流して加治川となり、さらに下流近くの早道場で「坂井川」と合流し、本地域の南端を東から西に向かって流れ、その長さは約 50 キロメートルの川です。

加治川は、矢のように非常に早く流れるという意味を持った川であり、昔からその名のおり有名な暴れ川で、住民はこの川に苦しめられてきました。特に昭和 41 年 7 月と 42 年 8 月の連続水害で大きな被害を受け、昭和 49 年加治川治水ダムが完成し、ようやく地域住民の長年の念願がかなえられました。

しかしながら加治川は、我がふるさとを生んでくれた母なる川であり、ここに育った人にとっては忘れられない川です。加治川の水の恩恵があればこそ豊かで平和な「ふるさと加治」ができたと考えられます。

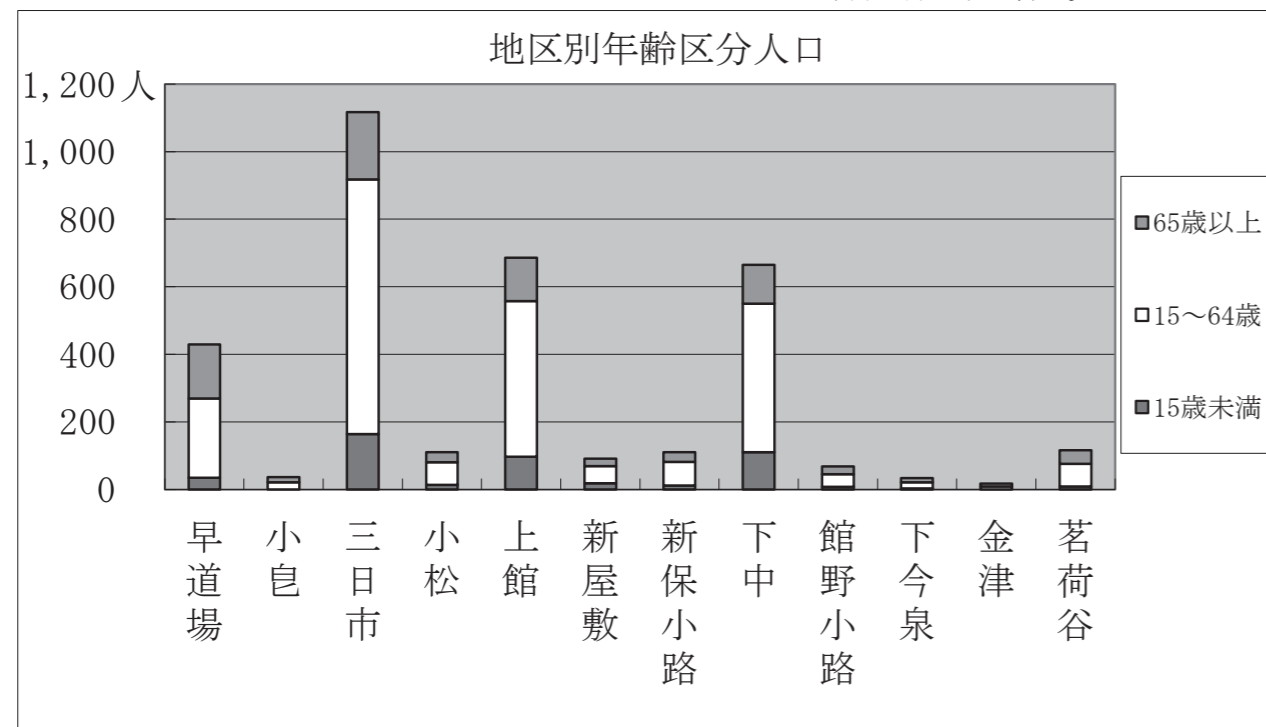
◎ 要害山（加治山）

正式には「要害山」と呼ばれ、「加治山」の名で市民に親しまれています。かつて佐々木加治氏の山城があったことに由来しています。標高 165.8m、楕円山脈の南端を占め、加治川、坂井川の流れを一望できます。ふもとに藤戸神社があり、毎年 5 月に祭礼が行われます。

地区別年齢区分人口 (H22年国勢調査)

大字名	15歳未満 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)	75歳以上 (人)	85歳以上 (人)	総数	平均年齢 (歳)	高齢化率	(再掲) 外国人 (人)
早道場	35	255	176	(110)	(26)	466	54.0	37.8%	1
割合	7.5%	54.7%	37.8%	(23.6%)	(5.6%)	100.0%			
三日市	164	754	199	(83)	(24)	1,117	42.9	17.8%	4
割合	14.7%	67.5%	17.8%	(7.4%)	(2.1%)	100.0%			
上小松	11	49	14	(9)	(5)	74	42.4	18.9%	-
割合	14.9%	66.2%	18.9%	(12.2%)	(6.8%)	100.0%			
下小松	3	27	15	(8)	(3)	45	53.0	33.3%	-
割合	6.7%	5.8%	3.2%	(1.7%)	(0.6%)	9.7%			
上館	97	461	128	(77)	(18)	686	44.3	18.7%	2
割合	14.1%	67.2%	18.7%	(11.2%)	(2.6%)	100.0%			
新屋敷	18	51	22	(12)	(2)	91	44.1	24.2%	-
割合	19.8%	56.0%	24.2%	(13.2%)	(2.2%)	100.0%			
新保小路	12	70	28	(15)	(4)	111	47.1	25.2%	-
割合	10.8%	63.1%	25.2%	(13.5%)	(3.6%)	100.0%			
下中	110	440	115	(54)	(12)	665	43.7	17.3%	-
割合	16.5%	66.2%	17.3%	(8.1%)	(1.8%)	100.0%			
館野小路	8	37	23	(16)	(2)	68	48.1	33.8%	-
割合	11.8%	54.4%	33.8%	(23.5%)	(2.9%)	100.0%			
下今泉	3	18	13	(8)	(2)	34	54.5	38.2%	-
割合	8.8%	52.9%	38.2%	(23.5%)	(5.9%)	100.0%			
金津	0	9	8	(6)	(0)	17	61.8	47.1%	-
割合	0.0%	52.9%	47.1%	(35.3%)	(0.0%)	100.0%			
茗荷谷	9	67	40	(25)	(6)	116	52.5	34.5%	-
割合	7.8%	57.8%	34.5%	(21.6%)	(5.2%)	100.0%			
計	470	2,238	781	(423)	(104)	3,490	45.1	22.4%	7
割合	13.5%	64.1%	22.4%	(12.1%)	(3.0%)	100.0%			

※年齢不詳1名を含む。



※小皂は、表では早道場の総数に含まれている。
上小松、下小松は、グラフでは小松として表示している。

■ 加治地区の現状と課題

加治地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域において、いきいきとした生活を送ることは地域住民の願いです。

この目的のため、地域住民や行政、社会福祉協議会、民間の福祉サービス事業者等が協働しながら、みんなで加治地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成24年9月～平成25年2月に、3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いまとめました。

《現状と課題》

1 少子高齢化が進んでいる。

- (1) 高齢化により地域活動が難しくなっている。
- (2) ひとり暮らしの高齢者が多くなっている。
- (3) 空き家が増加している。
- (4) 話し相手がないので困っている。
- (5) 子どもがなくて活気がない。

2 生活が不便である。

- (1) 買い物、通院には車がないと不便である。
- (2) 除雪が大変である。
- (3) 雪下ろしが大変である。手軽に頼めるところがあれば良い。

3 地域交流が少ない。

- (1) 地域活動に無関心な人がある。
- (2) 団地の住民の付き合いがない。
- (3) 自治会の活動に関心がない。

4 マナーが悪い。

- (1) 全く挨拶ができない人がある。
- (2) ゴミ出し日が守られない。
- (3) 大型店の周辺にゴミが捨てられる。
- (4) 農道に犬のフンがひどい。

■ 基本理念

加治地区に住む住民一人ひとりが活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができ、「子どもから高齢者まで元気で楽しく助け合えるふるさと加治」を目指していくことが大切です。

こうしたことから、次のとおり計画の基本理念を定めました。

子どもから高齢者まで元気で楽しく助け合えるふるさと加治



■ 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状及び課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

また、計画の基本目標の実現のため “あいさつで顔の見える元気な地域にしよう！” をキャッチフレーズとして、これまで行ってきた事業を見直しながら、新たな取組を行うことにしました。

基本目標 1	子どもも高齢者も共に元気で楽しい地域をつくろう！
基本目標 2	地域の連携で助け合いの輪をつくろう！
基本目標 3	交流を深め顔の見える地域にしよう！
基本目標 4	みんなが自分からあいさつし、住みよい地域をつくろう！

あいさつで顔の見える元気な地域にしよう！



■ 目標達成の具体的な取組の例

基本目標 1 子どもも高齢者も共に元気で楽しい地域をつくろう！

既存事業の継続や見直し	新たな取組のアイデアなど
(1) ひとり暮らし高齢者への年賀状贈呈事業 (2) 友愛訪問・ボランティア訪問などの実施 (3) あいさつ運動の実施 (4) 介護予防講習会の開催	(1) 三世代交流事業の企画 (2) 若者向けイベントの企画

基本目標 2 地域の連携で助け合いの輪をつくろう！

既存事業の継続や見直し	新たな取組のアイデアなど
(1) 近所との助け合い精神を促進する。	(1) 地域ボランティアの結成により、通院や買い物の送迎、除雪などのお手伝いをする。

基本目標 3 交流を深め顔の見える地域にしよう！

既存事業の継続や見直し	新たな取組のアイデアなど
(1) 地域広報紙を活用した情報伝達 (2) 地域の花壇づくり (3) 小地域内での交流の実施	(1) 三世代交流事業の企画 (2) ふるさと学校（昔遊び）の開催

基本目標 4 みんなが自分からあいさつし、住みよい地域をつくろう！

既存事業の継続や見直し	新たな取組のアイデアなど
(1) あいさつ運動の実施 (2) あいさつ標語の募集 (3) 地域広報紙を活用したマナー向上の呼びかけ	(1) あいさつ強化期間の設定 (2) 地域だけのクリーン作戦の実施

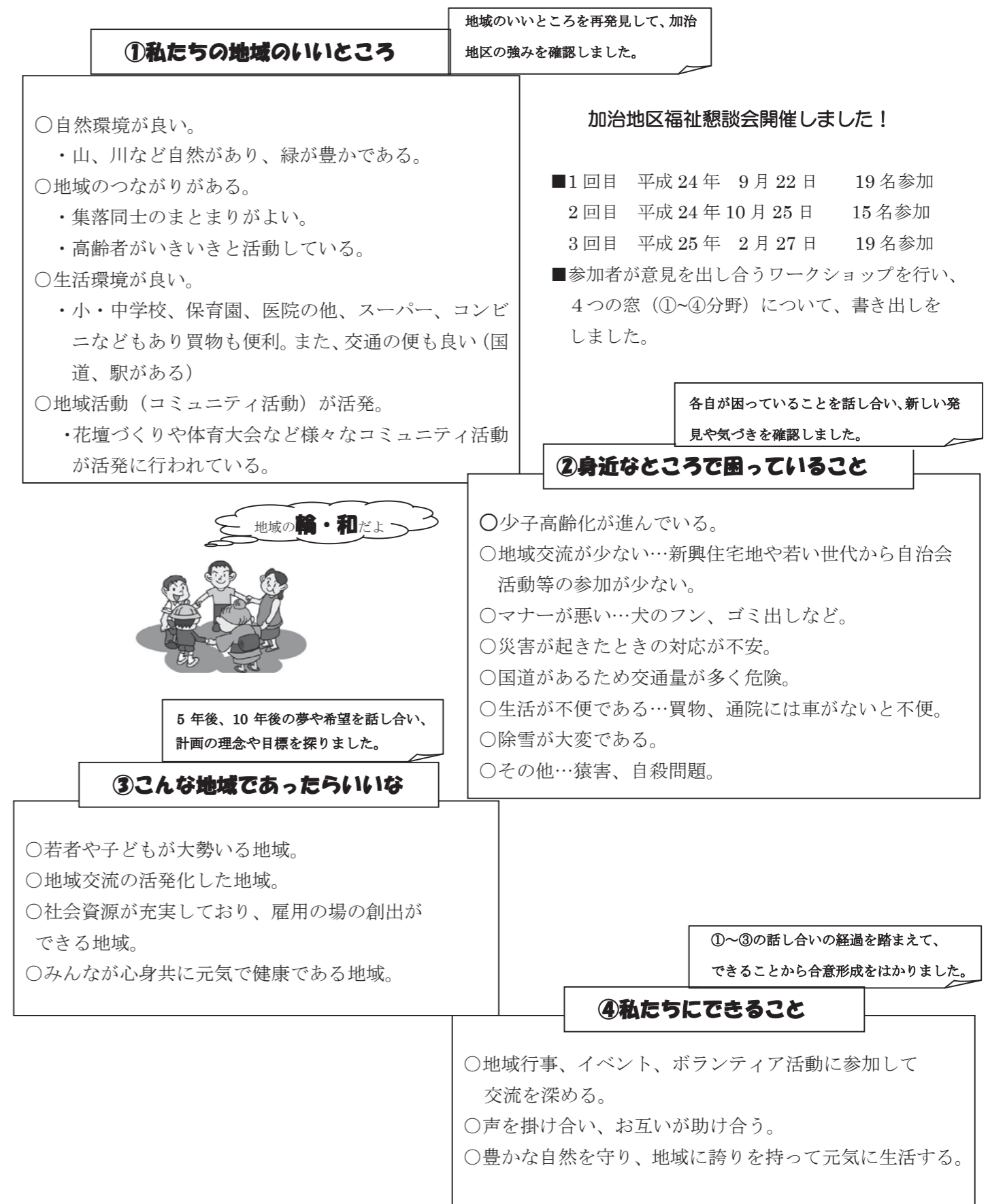
参考資料

- 加治地区福祉活動計画策定経過
- 加治地区福祉懇談会結果概要
- 加治地区福祉懇談会で出された意見

● 加治地区福祉活動計画策定経過

年月日	会議等	内容
平成 24 年 4 月 25 日	打合せ会議 (会場 越後苑)	加治地区福祉活動計画に係る地区住民学習会 参加者数 11 名
平成 24 年 6 月 23 日	上館区長会講演会	「地域福祉について」講演会 講師 敬和学園大学 趙教授 参加者数 10 名
平成 24 年 9 月 5 日	打合せ会	第 1 回福祉懇談会の進行について(会長宅) 参加者数 3 名
平成 24 年 9 月 20 日	事務局会議	第 1 回福祉懇談会について (事前打合せ) 参加者数 4 名
平成 24 年 9 月 22 日	第 1 回福祉懇談会 (会場、加治地区公民館)	①「地域福祉について」 講師 敬和学園大学 趙教授 ②グループワーク「地区の福祉課題について①」 参加者数 19 名
平成 24 年 10 月 3 日	事務局会議	第 2 回福祉懇談会について (事前打合せ) 参加者数 4 名
平成 24 年 10 月 10 日	打合せ会	第 2 回福祉懇談会の進行について 参加者数 4 名
平成 24 年 10 月 25 日	第 2 回福祉懇談会 (会場、加治地区公民館)	グループワーク「地区の福祉課題について②」(まとめ) 参加者数 15 名
平成 24 年 11 月 25 日	福祉懇話会	加治地区福祉懇話会(主催、加治コミュニティ協議会) 参加者数 74 名
平成 25 年 2 月 25 日	事務局会議	第 3 回福祉懇談会について(事前打合せ) 参加者数 6 名
平成 25 年 2 月 27 日	第 3 回福祉懇談会 (会場、加治地区公民館)	グループワーク「地域課題の解消に向けた取組について(まとめ)」 参加者数 19 名

● 加治地区福祉懇談会結果概要



私たちの加治地区のいいところ

- 自然環境が良い
- 地域のつながりがある
- 生活環境が良い
- 地域活動(コミュニティ活動)が活発。など...

あいさつで顔の見える元気な地域にしよう!

- 若者や子どもが大勢いる地域。
- 地域交流の活発化した地域。
- 社会資源が充実しており、雇用の場の創出ができる地域。
- みんなが心身共に元気で健康である地域。

こんな加治地区であつたらいいな



地域の現状及び課題

- 少子高齢化が進んでいる。
 - ・高齢化により地域活動が難しくなっている
 - ・一人暮らし高齢者が多くなっている
 - ・空き家が増加している・話し相手がないので困っている
 - ・子供がいなくて活気がない
- 生活が不便である。
 - ・買い物、通院には車がないと不便
 - ・除雪が大変である
 - ・雪おろしが大変である。手軽に頼めるところがあれば良い
- 地域交流が少ない
 - ・地域活動に無関心な人がいる
 - ・団地の住民の付き合いがない
 - ・自治会の活動に関心がない
- マナーが悪い
 - ・全く挨拶できない人がいる
 - ・ゴミ出し日が守られない
 - ・大型店の周辺にゴミが捨てられる
 - ・農道に大のファンがひどい

基本目標

- 子どもも高齢者も共に元気で楽しい地域をつくらう!
- 地域の連携で助け合いの輪をつくらう!
- 交流を深め顔の見える地域にしよう!
- みんなが自分からあいさつし、住みよい地域をつくらう!

具体的な取組の例

既存事業の継続や見直し	新たな取組のアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者への年賀状贈呈事業 ・友愛訪問・ボランティア訪問の実施 ・あいさつ運動の実施 ・介護予防講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・三世交代流事業の企画 ・若者向けイベントの企画
<ul style="list-style-type: none"> ・近所との助け合い精神を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの結成により、通院や買い物物の送迎、除雪などのお手伝いをする。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域広報紙を活用した情報伝達 ・地域の花壇づくり ・小地域内での交流会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・三世交代流事業の企画 ・ふるさと学校(昔遊び)の開催
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施 ・あいさつ標語の募集 ・地域広報紙を活用したマナー向上の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ強化期間の設定 ・地域だけのクリーン作戦の実施

● 加治地区福祉懇談会で出された意見

1 私たちの地域のいいところ

- ・年寄りも若い人も共に明るい。
- ・心根、素直
- ・共同の心、仲間づくり、和やか。
- ・前進する強さ。
- ・集落ごとに個性がある。
- ・地域のまとまりがある
- ・各集落皆よくまとまる。
- ・早道場ですが、昔からの地域なのでまとまりやすい。お祭り行事等。
- ・軒数が少ないので話しがまとまりやすい。
- ・地域のつながりがある。
- ・隣同士仲は良い。
- ・みんなが協力的である。
- ・集落の人たちが協力的だ。(地区の川そうじ)
- ・納涼祭で交流を図っている。
- ・区長さんが頑張っている。
- ・老人クラブ活動が活発。
- ・高齢者がいきいきしている。
- ・一人暮らしの方が元気であること。
- ・老人のまとまりが良い。

- ・お米がおいしい。
- ・農業するには良い。
- ・あいさつを大切にしている。
- ・静かで住みやすい。
- ・小学生が明るくあいさつできること。



- ・町内の人達(年齢、男女別) 同士仲が良い。特に若年者達は、行事などを通して仲間作りをしているようだ。
- ・35歳から55歳位まで若い人のいる地域である。(団地)
- ・公民館活動が活発なので皆さんと友達になれている学べる。
- ・コミュニティで地区の活動が19年目で活発だ。
- ・花壇を綺麗に管理している。
- ・安心して暮らせる。
- ・環境が良い。

- ・料理講習もあり、旅行、講演あり、手芸等あり。
- ・歴史のある地区である。
- ・七葉保育園、七葉小学校、七葉中学校と七葉の名前で小学校、中学校がある。
- ・駅がある。・本屋がある。・生活しやすい。・街に近い。・自然がいっぱいなところ。
- ・自然が良い。自然が豊か。・自然環境に恵まれている。
- ・山、川、野、田んぼ、そして緑、風景、自然はすばらしい。
- ・自然環境は、東方に加治山あり、西に加治川あり、その中に国道7号線とJR電車と道がついている。自然環境は、最高と思う。



- ・まだ、メダカがいる。
- ・緑豊かなこと。
- ・里山がある。
- ・加治川がある。
- ・日本一小さい楡形山脈に隣接している。
- ・二王子山が良く見える。
- ・各集落に1つ社がある。
- ・昔の習慣が残っている。
- ・地域の運動会がある。
- ・地区全体の体育大会があること。

- ・地区の協力が得られる。(花壇づくりで)
- ・花作りの時、学校の先生や生徒たちの参加がある。
- ・地区の祭りで花火大会がある。
- ・団地で祭りを独自で行っている。
- ・地区内のお祭りがある。(体育祭、ふるさと祭)
- ・5月は、加治山で藤戸様(藤戸神社)のお祭りがある。
- ・ふるさと加治川祭りがある。
- ・大変な花壇づくりがずっと続いている。
- ・加治川地区の歌を持っている。
- ・楽しい集いが多い。
- ・駐在さんがとても身近で親切なこと。
- ・犯罪が少ないこと。
- ・自主防災づくりが進んでいること。
- ・国道に近いのでどこに行くにも便利。
- ・コミバスがある。
- ・買い物に便利なこと。
- ・スーパー、コンビニ、ホームセンターなど買い物などは十分である。
- ・保育園、小学校、中学校が地区内にある。
- ・保育園、小学校、中学校が近くにある。
- ・ステキな人が大勢いる。

2 身近なところで困っていること

- ・空き家が増えた。空き家が増加している。

- ・スーパー等はあるが、車に乗れない人、歩行ができない人には買い物が大変。特に大きな物を買う時、高齢者で車のない人が大変である。
- ・車がないと生活できない。
- ・買い物、通院が不便。
- ・医者が遠い。
- ・子どもがいない。子どもの減少。
- ・近所に子どもが少ない。いない。
- ・子どもがいなく活気がない。
- ・両親が働いていて子どもがカギっ子である。
- ・会社員の帰る時間が遅すぎる。
- ・周り近所に結婚しない人が多い。

- ・若い人が少ない。
- ・後継者がいない。
- ・若い人が出ていく。
- ・ひとり暮らし高齢者が多くなっている。
- ・ひとり暮らしが徐々に増えている。



- ・高齢化により地域活動が難しくなっている。
- ・市道が細い。整備されていない。
- ・国道で地域が分断されている。
- ・国道があり危険なこと。
- ・車の通りが激しく危ない。
- ・団地の住民の付き合いがない。
- ・自治会の活動に関心がない。
- ・団地で公会堂が未整備。
- ・地域活動への参加者が少なく、また固定化。
- ・祭り行事などへの参加が少ない。
- ・地域の祭りの時、協力できない家が増えている。
- ・地域のお祭りの行く末が心配。
- ・若い人と昔からの人がとけ込まない。
- ・地域活動に無関心な人がいる。
- ・地域活動に子どもが少ない。若者の協力が少ない。
- ・新興住宅があり、自治会活動等はまとまりが悪い。
- ・新しい団地の人がなじまない。
- ・いろんな地区から来る人達なじまない。(風習)
- ・近所で全くあいさつできない人がいる。(声かけても)

- ・集落の人達とのコミュニケーション。
- ・年をとって組長ができない。
- ・高齢化率が高く、認知症の老人が増えている。
- ・年寄りが一人で留守番している時は、話し相手がないので困っていると思うので、なんとかならないものか？

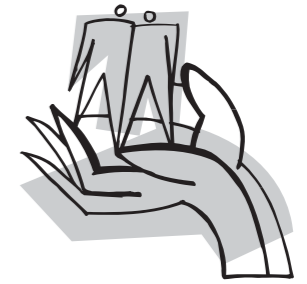


- ・高齢化、どこもかしこも70歳以上？私の家も空き家になるような不安あり？
- ・冬の雪対策（一人暮らしになって不安）
- ・雪下ろしが大変だ。手軽に頼めるところがあれば良い。
- ・除雪が遅い。また下手。
- ・大雪で玄関先の除雪が大変だ。
- ・除雪された時に雪のやり場がなく、道路が狭くなる。
- ・大型店の周辺にゴミが捨てられる。
- ・ゴミ出し日が守られない。
- ・農道に犬の糞がひどい。
- ・下水掃除ができない。
- ・植木の消毒をしてほしいと思う。（アメシロ、シバムシ等）
- ・稲花粉（秋の取り入れ後）に悩まされる。
- ・サルが出てきて困る。
- ・若年代の自殺者がこの地域にも出てしまった。
- ・災害の起きた時の対応に不安（高齢者一人暮らし）
- ・余裕がない。

3 こんな地域であつたらいいな

- ・地域に子どもが増えてほしい。
- ・元気な子どもたちがあふれていること。
- ・子どもがたくさんで笑い声があふれている。
- ・子どもの割合が多くなるとよい。
- ・若者、子ども達の多い地域であつてほしい。
- ・若い夫婦や子どもが多くいる加治地区。
- ・若者の多い地域に。
- ・若い人が帰って来て、明るくしてほしい。
- ・町内に若い人が増えてほしい。

- ・若い女性がたくさんいる地域。
- ・娘にムコさんが来ること。
- ・3世代のいる家族がいっぱいいる地域。
- ・おじいちゃんおばあちゃんの笑顔がいっぱいある地域。
- ・若い人も公民館活動に参加してもらいたいと思う。今は中高年が多い。
- ・子どもに気軽に声をかけたい。
- ・男性料理の回数を増やすと良いと思う。
- ・地域内近所の人々の交流が良くなるように。
- ・人と人とのつながりがもっと良くなるといいな。
- ・みんな顔のわかる関係になりたい。
- ・コミセンを中心に趣味の会を作してほしい。花の会とかいろいろ。
- ・地域実情にあった取組（自由に使える事業費）
- ・地域の特性（山と川）をもっと活かした公園があるといいな。
- ・働く場所がある。
- ・公園（大きくなくてよい）安心して休めるところ（憩いの場所）
- ・楽しい仲間が近くにいること。
- ・色々な人がつながる地区。
- ・みんなが和気あいあいしている。
- ・新しく入ってきた人達も地域に馴染んで一つになれる。
- ・いつまでも自然がいっぱいでおいしいお米がとれるといい。
- ・みんなが健康である。
- ・健康でいたい。
- ・自分のやりたいことができる。
- ・新コミセンが大いに利用されるといい。
- ・加治地区にもデイサービスがあつたらいい。
- ・買い物便利な地域（老人で歩けなくても）
- ・住民が経済的に不自由なく明るい顔をしている事。
- ・地域の行事を引き継いでいきたい。お祭り他にも応援をし合う。
- ・地域文化として後世に残せるものがある。



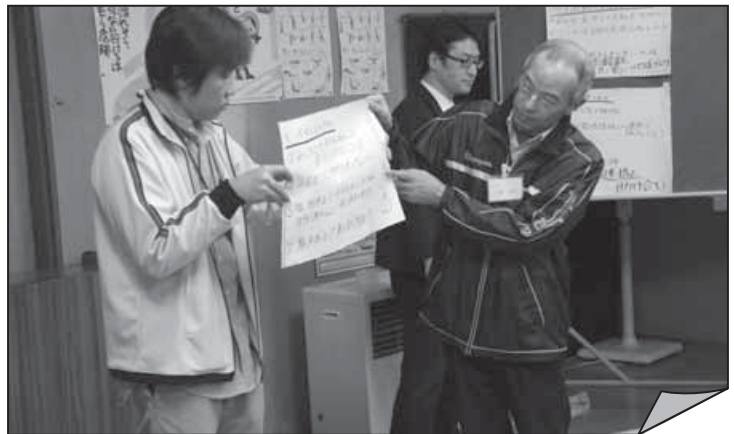
- ・地域の問題がなく仲良くできると、、、
- ・みんなが挨拶を交わす地域であるといいな。
- ・道で人に会ったらみんなであいさつを交わせる地域。
- ・景気がよく円満な家族が多いといいな。
- ・ちょっとだけ人のためになれるといいな。
- ・みんなずっと元気でいるといいな。
- ・隣組を単位とした見守り強化。集落全員の顔が分かるといいな。
- ・振り込め詐欺に引っ掛からない地域。
- ・安心して一人暮らしできる助け合い。

- ・ 7号線の交通量が多いので加治川の橋を広くしてほしい。
- ・ 高齢化率が高くなることが予想されるので、高齢者が安心できる地域であってほしい。
- ・ スポーツ文化に積極的な地域になってもらいたい。
- ・ 子どもの教育として小学校低学年（小3年生位まで）の生徒と高齢者60代～70代の大人と一緒に授業の時間を設けて人間教育（しつけ）の時間を作るようになれば良い。
- ・ 今のままで良い。
- ・ 花と蛍の舞う里。

4 私たちにできること

- ・ 地域の皆さんが何でもちょっとしたことで困っていたら、行動して役に立ち喜んで頂くこと。
- ・ 地域活動を立ち上げる。
- ・ 同好会活動を立ち上げる。
- ・ 団地内の交流会を新しく作る。
- ・ イベントを開催し人を集めること。
- ・ 自治活動を活発に行う。
- ・ コミュニティの役員として協力すること。
- ・ 自分から地域の行事に参加するようにする。
- ・ 地域活動に多くの声かけ 一人でも多くの活動参加を呼びかける。

- ・ 一人暮らしやお年寄りに声をかける。
- ・ 地域の行事に新興住宅の人たちを呼ぶ。参加してもらう。
- ・ 自分から地域の行事に参加する。
- ・ 部員を増やすように心がける。
- ・ ちょっとしたボランティア。
- ・ 自分から「助けて」と言う。
- ・ 近所で助け合う。
- ・ 老人世帯への手助け（草刈り、除雪等）



- ・ 文化活動の講師をやる。（自分のできるものに限る）
- ・ ゴミ拾い。・ 隣組組織を大切に維持すること。・ 私たちの地域に誇りを持つ。（地域の歌をうたう、昔の事を知る、昔々の話など）
- ・ 健康で子どものやっかいいないように健康を保つ。
- ・ ボケ教育（セミナー関係等）・ 子ども達を集めて活動を行う。
- ・ あいさつ運動（進行中）・ みんなで声をかけ合おう、私たちの地域！！
- ・ できるだけ歩き、人と会ったらあいさつをしてみよう。

